



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200
TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 <https://www.seisen-h.ed.jp>

カイロス

καίρος

第85号

2025年4月15日発行

チャレンジジャーであれ!



校長
小川 幸子

八十一期生となる一七九名の新入生を迎えて新年度が始まりました。今年度の学校目標は「チャレンジジャーであれ!」です。清泉の歴史はヨーロッパの聖心侍女修道会から派遣された四人の修道女たちが一九三四年、日本に足を踏み入れたことから始まります。九十年前の状況を考えると、彼女たちはまさに国境を越えたチャレンジジャーでした。

チャレンジと聞くと、この修道女たちのように、達成困難なことや皆が思いつかない大胆なことに果敢に挑む、というイメージがあります。でもチャレンジはそればかりではありません。私たちの毎日にも小さなチャレンジの種がたくさん転がっています。バスや電車で思い切って誰かに席を譲るとか、勇気を出して自分の意見を言ってみるとか、自分で決めたことをコツコツ頑張るとか。当たり前のことかもしれないけれども、

当たり前のことをちゃんとやる、というのも意外とチャレンジングであったりします。

振り返ってみて、私の人生におけるチャレンジと言えるのは三十代でアメリカの大学院に入って英語教授法の勉強をしたことだろうと思います(詳細は五頁)。最初から目指していたわけではなく、色々幸運が重なって実現したのですが、当然のことながら楽ではありませんでした。授業内容がさっぱりわからず自分より年下の同級生に助けてもらったこと、何とか子供を寝かしつけて夜中に必死に試験勉強したこと、レポートのデータを集めるのにたくさんの人に協力してもらったこと、予習で何十ページもの英文を泣きそうになりながら読んだこと等々。色々ありましたが、今となってはすべて宝物のような経験ですし、私の世界を何倍にも広げてくれました。

チャレンジというのは、「やってみようかな」と思う心から始まるもので、実はわざわざやるなくても済んでしまう、ある意味「余計なもの」です。だから、いくら周りが応援して勧めてくれても「そんなの無理、面倒くさい」と

拒否する選択肢もあります。でもチャンスがあるのに拒否してしまうのは、自分で自分の可能性や世界を狭めてしまうようでもったいない!

また、チャレンジすることの良い点は「達成感や自信、自己肯定感が得られること」と思いますが、実は一番大事な点は「謙虚になれること」ではないかと思えます。自分一人だけで頑張れるチャレンジというものは多くありません。大抵は誰かに応援してもらい、様々な局面で助けてもらわないと達成できません。自分の力のなさを思い知らされることもありすが、だからこそ「もっと頑張ろう」という意欲も生まれてきます。

さて、二〇二五年度の清泉は今まで以上に生徒がチャレンジできる場をたくさん用意します。小さなものから大きなものまで、「やってみようか」「やってみようかな」という気持ちを大切にして、是非チャレンジしてどんどん世界を広げてほしいと願っています。チャレンジジャーであれ!

HPとパンフレットが新しくなりました

- ◆ INSIDE ◆ ② 進路指導 研究部から・年間行事予定・新担任紹介 ③ 大学合格実績・清泉百花百景 鈴木美衣先生
④ Be a Challenger! 世界で学ぶ卒業生 ⑥ 学生生活進行形 秋田大学 脇坂実穂さん ⑦ 短信・賞・異動

「カイロス」は、ギリシャ語で「時」という意味です。